

7/24 福井

健康確認 高齢者らに絞る

県、コロナで 感染939人最多

新型コロナウイルス流行
「第7波」の政府の追加対策を受けて、福井県は23日から、自宅での経過観察期間に電話で健康状態を確認する対象者を、65歳以上の高齢者や基礎疾患のある人など重症化リスクの高い感染者に絞った。リスクが低い人は絞った場合

の連絡先を伝え、待機期間中の連絡は取つやめた。

【3面に認可記事】

これまで各保健所や県の陽性者・接触者サポートセンターが電話で健康確認の期間を、重症化リスクが高い人は10日間、低い人は5日間としていたが、感染者が急増で連絡が滞るケースには症状が悪化した場合

一歩も生じていなかった。感染者の待機期間は10日間で変わらない。
県内では23日、新規感染者の39人が確認され、5日連続で過去最多を更新。自宅観察者は5555人に

説明する。その上で、「今後は

スマートフォンや携帯電話のショートメール機能を使って勤務先や学校、家族構成、基礎疾患の有無などの基礎情報を収集し、重症化リスクの程度を判断する。

上り、県対策チームは「待機期間短縮の連絡が追い付かない恐れもある。23日以降が7日間から5日間に短

縮された。感染者の家族を健所に連絡するため電話で

連絡する。その後は、今後は

連絡は県内で7047人に

びかけてくる。

発熱外来の混雑を防ぐために医療機関で検査キットを各自治体の判断で無料配布されるところ、追加対策についても、県と県医師会で話し合われた。感染者の家族を中心とした待機中の濃厚接觸者に連絡する考え方。

（高島健）

（高島健）